

## 国立・国定公園内における大規模太陽光発電施設設置のあり方検討委員会 概要

### 1. 検討委員会設置の目的

我が国においては、平成 26 年 4 月に新しいエネルギー基本計画を閣議決定し、再生可能エネルギーの導入を積極的に推進している。一方で、国立公園や国定公園においては、風致景観や自然環境の保全と調和した再生可能エネルギーの導入について検討する必要性が高まっている。

太陽光発電施設については、再生可能エネルギーの固定価格買取制度開始後、急速に導入量が増加しており、大規模容量の施設を設置するにあたっては広大な敷地が必要となること等により、国立・国定公園における取扱いについて整理することが課題となっているため、有識者等により考え方を検討する。

### 2. 検討委員会の構成

以下の有識者により構成（敬称略）

氏名	所属機関・団体及び役職
阿部 宗広	一般財団法人 自然公園財団 専務理事
浦 達也	公益財団法人 日本野鳥の会 自然保護室
茅岡 日佐雄	一般社団法人 太陽光発電協会 企画部長
熊谷 洋一	東京大学名誉教授（座長）
黒川 浩助	東京農工大学名誉教授、東京工業大学特任教授
斉藤 馨	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
星野 義延	東京農工大学大学院農学研究院准教授

このほか、オブザーバーとして経済産業省資源エネルギー庁が参加

### 3. 検討の経緯

平成 26 年 9 月 29 日	第 1 回検討委員会 ・国立・国定公園と再生可能エネルギーに関する基本認識 太陽光発電施設の特性、現状及び課題の整理 ・地方自治体からの課題や対応状況に関する話題提供
平成 26 年 10 月 28 日	第 2 回検討委員会 ・第 1 回検討委員会の議論の取りまとめ ・基本的方針の確認、課題の整理
平成 26 年 12 月 1 日	第 3 回検討委員会 ・基本的考え方（素案）の検討
平成 26 年 12 月 18 日 ～平成 27 年 1 月 16 日	基本的考え方（素案）に対する意見募集
平成 27 年 2 月 9 日	第 4 回検討委員会 ・基本的考え方（案）の検討、取りまとめ